

【大田市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合(%)

大田市の小学校数:15校、中学校数:6校

必要なネットワーク速度が確保できている学校数:21校(100%)

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) アセスメントにより明らかになった課題について

学校から集約回線(WAN)までの通信最大速度(理論値)は1Gbps以上となっており、教室内の帯域測定では、端末1台あたり2Mbps以上が確保されている状況にある。ただし、想定しているアクセスポイントからの受信だけでなく、別階のアクセスポイントから受信を行う場合があり、インターネットへのアクセスが不安定になる場合がある。テストやオンライン授業中にその状態になると支障をきたす恐れがあることから、想定したアクセスポイントから正しく受信できるようにすることが必要。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善策について

ネットワークアセスメント結果を踏まえ、速度は確保されている状況にあるが、効率的な通信の確保ができていない学校があるため、アクセスポイントの配置の転換や受信強度の変更調整等、令和7年度～令和8年度にかけて、対象校における改善策を完了させる。令和9年度にはルーター・アクセスポイント・基幹スイッチのライセンス更新が行われるため、それまでにはアセスメント結果を反映できるようにする。今後はデジタル教科書等の導入やアプリの並列利用、クラウド環境の利用に合わせて、ますます通信帯域増強の必要性が高まっていくことが予想されるので、安定した受信とオンライン環境を整えるために、ネットワークアセスメントを実施し、改善の余地がある学校のアクセスポイントの更改について国の補助金(GIGAスクール構想支援体制整備事業等)を活用して、学校のICT教育に支障の無いネットワーク整備を実施していく。